

同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

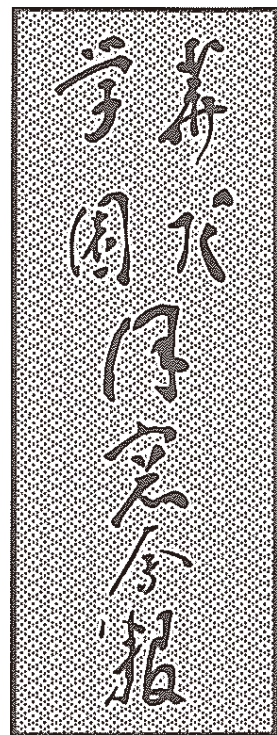
今年は大阪・関西万博開催の年で、いのち輝く未来社会のデザイン」という大きなテーマのもと、世界各国から日本に訪れる人で会場は連日賑わっているようです。国際交流を深めるためにも意義のあるイベントです。成功してほしいものです。

さて今日は私達の学校の歴史を少し振り返ってみようと思います。

私達の華頂学園は、明治44年（1911年）、宗祖法然上人七百年遠忌に際し、祖恩に報いるための記念事業として創立された華頂女学院を起源としています。由緒ある華頂宮旧邸跡地に建てられ、時代の流れとともに名称を変えながら現在に至っております。同窓会が発足したのが大正6年

ごあいさつ

会長 昭和四十四年卒 西村(平田)曜子



(1917年)。今の校歌が生まれたのは昭和11年（1936年）。華頂学園として認可されたのは昭和26年（1951年）です。このような長い歴史のある学校で、また恵まれた環境の中で学ばせていただいたことは大変感慨深く、誇りに思うところです。

これまで授かったご恩に報いるためにも、人を思いやる気持ちを忘れず、日々の生活を穏やかに過ごすことができたいと思います。

昨年は何年ぶりかで、全同窓生の皆様に会報を送りましたが宛名不明で多く返ってきました。また手違いも多々ありましたことも紙面を借りてお詫び申し上げます。また会報をご覧になって、同窓会にご理解いただき、お手伝いして下さる方も増えました。本当に嬉しく思います。どんなことでもよろしいので、またお手伝いいただける方がいらつしやいましたら是非ご連絡下さい。お待ちしております。

これからも歴史あるこの華頂学園を一緒に守っていきませんか。ご協力どうぞよろしくお願い致します。

令和7年度 同窓会総会のご案内

日時 令和7年11月9日(日)
受付 10時30分～
総会：11時～
懇親会：12時～(懇親会後記念写真撮影)

会場 THE THOUSAND KYOTO
京都市下京区東塩小路町570(京都駅正面東)
TEL：075-354-1000

第一部 総会
議事・令和6年度決算、令和7年度予算
・会務報告、その他

第二部 懇親会
清興
コーラス『華凜』(卒業生による女声合唱)

会費 11,000円(写真代を含む)
※10月10日(金)までに下記口座にお振り込み下さい。
(ゆうちょ銀行：口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会)



昨年の清興の様子



発行所 華頂学園同窓会

〒605-0062
京都市東山区林下町 3-456
華頂女子高等学校内
<https://www.kacho.ed.jp>
FAX 075(525)2522

お願い

- ・住所変更などは同封のハガキまたはFAXでお知らせください。
- ・ご意見や原稿などは華頂学園同窓会宛にお願い致します。
- ・現姓、旧姓、卒業年、クラスなどもお書き下さい。

編集兼発行人 西村曜子

会務報告

令和六年九月～令和七年八月

9月上旬 六年度の会報発送

10月 秋期「趣味のサロン」開講

10・19 役員会
(総会について)

11・4 令和六年度同窓会総会
(都ホテル京都八条にて)

12・7 役員会
(総会の反省、今後の予定、会報の整理)

2・22 役員会
(次年度について)
懇親会
(祇園青冥にて)

3・1 高校卒業式に参列
(卒業記念品授与)

4月 春期「趣味のサロン」開講
高校入学式に参列

4・8 役員会
(会報、総会、九州支部会、東京支部会について)

5・10 懇親会
(山科毘沙門堂門跡 拝観、弘誓山當麻寺 拝観、ホテル山楽にてランチバイキング)

6・1 九州支部会
(博多料亭 稚加榮にて)

7・6 役員会
(会報、六年度決算報告、七年度予算案、総会について)

7・6 東京支部会
(渋谷区 パンダレストランにて)

7・8月 七年度会報作成作業

8月下旬 七年度会報の発送準備

ご挨拶

校長 前田 千秋



同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本校の運営のために格別のご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私たちは今、歴史の大きな転換点に立っています。その中心にあるのが、急速に進行する「少子化」という社会現象です。かつて当たり前であった「女子校」という学びの場は、この波に飲み込まれ、全国各地で女子大学や女子高校の共学化、あるいは募集停止・閉校が続いています。この傾向は一向に衰える気配がなく、むしろ雪崩を打つようにその勢いを増しています。

ニュースを耳にして「あの学校が……」と驚くことは近年珍しいことではなく、本校もこの大きな流れと無縁ではられない状況になっています。

多感な青春時代を過ごした女子校は、単なる教育機関ではありませんでした。そこは、女性が自らの可能性を最大限に引き出し、社会で活躍するための揺るぎない土台を築く場でした。女性特有の繊細な感情を育み、共感力を高め、そしてリーダーシップを培う。

そうした経験を通じて、社会に貢献する力を養い、多くの卒業生諸姉が綺羅星のごとく、様々な分野で道を切り拓いてくれました。

しかし、少子化の波は、そうした女子教育のあり方そのものに再考を迫っています。生徒数の減少は、運営基盤の弱体化を招き、多くの学校法人は、共学化や閉校という苦渋の選択を迫られる事態に直面しています。これは、長年にわたり築き上げられてきた女子教育のアイデンティティの危機に他なりません。共学化によって、女子校ならではの教育的特色や文化が希薄になり、女性価値が失われてしまうのではないかと懸念も拭えません。

しかしながら、少子化がもたらす影響は、単に女子教育の分野に「冬の時代」を現出させただけに留まりません。その影響は、教育という枠を超え、私たちの社会全体に深刻な影を落としています。私たちは、ともすれば目先の生活の問題に気を取られがちですが、この問題は私たちの想像をはるかに超える規模で、社会の根幹を揺るがしています。

それは経済・産業構造、ひいては社会全体の仕組みそのものの存在を揺るがす大問題であり、喫緊の課題です。既に経済・産業構造への影響は顕著に現れており、過去において世界経済を牽引していた日本経済の面影はもはやありません。労働人口の減少は、生産性の低下を招き、企業活動を停滞させます。少子化による若年層の減少は、消費市場の縮小を意味し、デフレ傾向を加速させる要因にもなりかねません。年金や医療といった社会保障制度の維持も困難になり、現役世代の負担

は増大の一途を辿る可能性もあります。これは「誰が社会を支え、誰が未来を創造していくのかという、根源的な問いを突きつけているのです。」

また、少子化は地域社会の衰退も引き起こします。過疎化が進む地域では、学校や病院、商店などが次々と閉鎖され、地域コミュニティそのものが維持できなくなるという悲劇が起こっています。都市部においても、子どもたちの声が減り、シャッターのおりた商店が続く街並みから活気が失われていく光景は、どの町でも見られるありふれたものになりました。

さらに深刻なのは、国の安全保障に関わる問題です。少子化は、将来の自衛官や警察官、消防士といった国家の安全を守る人材の確保を困難にします。また、科学技術分野においても、研究者や技術者の不足は、国際競争力の低下に直結します。将来の日本を背負っていく人材が不足することは、総合的な国力の低下を意味し、ひいては国の存亡をも脅かす事態に発展しかねないのです。

このような状況下において、私たちは「仕方がない」と諦めるわけにはいきません。この少子化という大きな波を前に、私たちに求められるのは、意識改革と具体的な行動です。

この「冬の時代」は、私たちに変革を迫っています。しかし、変革は常に新たな可能性を生み出す契機でもあります。実際に、世界でも先進国であってもヨーロッパの諸国で少子化の進行を減速させている例があり、日本でも限られた地域ですが、成功事例が報告されています。

少子化という言葉がいくら喧伝され

ても、私たちに当事者意識がなければ、少子化の流れを食い止めることはできません。私たちがこの危機を乗り越え、未来に希望を灯すためには、他人事と捉えず、柔軟な発想と行動が不可欠です。何ができるかを考え、行動していく時が来ています。

本年も新しい先生方を多くお迎えし、学校も職員室も明るい雰囲気になっています。この和やかな学校を持続可能なものにするため、教職員一同、変わらぬ姿勢で一人ひとりを大切にする教育に邁進して参ります。変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学園現況

教頭 杉本 美香

日頃より母校への温かいご支援をお寄せくださる皆様のご存在は、教職員にとつて大きな励みであり、母校の大きな力となっております。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

この春、入学式の日には約20年前の卒業生と再会する機会がありました。彼女は「娘が高校選びで迷っていたので、お母さんは高校時代本当に楽しかったから、お母さんが通っていた学校にした」と勧めました」と笑顔で話してくれました。本校を選んでくださったことも、もちろん嬉しい出来事でしたが、高校時代の面影を残しつつ立派なお母さんとして娘さんに寄り添う姿

に胸が熱くなりました。また、この3月に卒業したばかりの生徒たちをはじめ、たくさん卒業生たちが大人びた装いで学校を訪ね、近況を報告してくれています。そのたびに、彼女らの成長を喜び、そして再会のひとときに心が温かくなります。卒業しても、こうして学校とのつながりを大切にしてくれている卒業生の存在を大変ありがたく思っております。

さて、本校は昨年度から文部科学省の高等学校「DXハイスクール」に採択され、情報教育のさらなる充実を図っております。その一環として「メディアアラボ」という新しい教室が完成いたしました。150インチの大型スクリーンを備えたこの教室には一般的な机は設置されておらず、自由に移動可能な丸椅子が配置されており、柔軟な学びを実現する空間となっております。この教室での最大の取り組みはプロジェクト・アクションマッピングです。1月には中庭にて、生徒たちが制作した作品を上映し、大好評を博しました。今後も「メディアアラボ」は、生徒や教員の創造力を刺激し、新たな発想が生まれる拠点として、ますます活用されていくことと存じます。

学校行事では、5月26日から29日にかけて2年生の北海道修学旅行を実施いたしました。晴天に恵まれた中、生徒たちは、雄大な自然や地域の文化に触れながら仲間との絆を深め、かけがえのない学びと経験を得ることができました。今回の経験を通して、生徒たちがさらに成長していくことを願っております。また、文化祭に向けた取り組みがスタートし、クラスごとの企画内容も決定いたしました。今年度の

文化祭は9月18日(木)・19日(金)の開催を予定しております。当日、生徒たちはクラスごとにデザインしたオリジナルTシャツを着用し、それぞれの企画を二層盛り上げてまいります。ぜひ文化祭のひとつを楽しんでいただきたく、皆様のご来校をお待ち申し上げます。

次に、教員(専任・契約教員)の異動についてご報告申し上げます。昨年度末をもって、安達浩士先生(副校長)が定年退職され、また、佐野泰生先生(国語科)、山田加南子先生(国語科)が退任されました。なお、佐野先生には非常勤講師として引き続きご勤務いただいております。本年4月からは、大原竜雄先生(国語科)、小畑吉祥先生(国語科)が新たに着任されました。

安達先生は、生徒指導部長・教務部長・教頭などを歴任され、令和4年度からは副校長として学校運営の中核を担い、教育活動を力強く牽引してくださいました。本校の発展に多大なご尽力をいただいたことに深く感謝いたします。

結びに、皆様のご健勝とご活躍をお祈りするとともに、今後も母校へのご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

*ファミリー推薦・受験生の四親等以内の親族が、華頂女子中学校・華頂女子高等学校・京都華頂大学・華頂短期大学・華頂短期大学附属幼稚園及び華頂高等女学校等の旧制諸学校を卒業卒園、もしくは在学在園の場合にこの制度を利用して受験ができ、入学金(90,000円)が免除されます。

令和六年度 同窓会総会 報告

副会長 昭和六十二年卒 山羽(松家)めぐみ

令和6年11月4日都ホテル京都八条にて総会および懇親会が開催されました。

西村曜子会長の挨拶、校歌斉唱、学校長前田千秋先生よりお言葉をいただきました。当日は現役の先生方をはじめ、東京支部・九州支部からもご参加いただき、昭和31年卒の大先輩から平成20年卒の若い世代の卒業生まで54名が集い、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

総会では今年度の活動報告、会計報告、次年度に向けた活動計画、会計予算や役員の体制についても承認され滞りなく終了いたしました。

懇親会では、副校長の安達浩士先生



生に乾杯の音頭をお願いしスタートいたしました。現役の先生方にもスピーチをいただき学校の近況や日々の様子など、楽しいお話を伺うことができ、在校時の思い出が一層よみがえる時間となりました。

また各テーブル毎にいろいろな話題に溢れ、笑顔が広がり、当時の学校の思い出話に花が咲きました。

今回の清興では箏曲(生田流)の演奏を、昭和34年卒の井元優子様ご指導のもと、昭和60年卒の今堀朱美様と平成4年卒の北澤宏枝様が披露され、繊細で美しい音色に会場が静かに聴き入りました。そのあと、趣味のサロンで共にお稽古されている皆様による演奏も行われ、息の合った演奏に温かい拍手が送られました。

なお、令和7年度の同窓会総会・懇親会は、ザ・サウザンド京都にて開催いたします。

これまでとは異なる会場での開催となりますが、新たな雰囲気の中で、より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



東京支部より

昭和四十一年卒

桑江(中西)日出子

7月6日(日)、渋谷の「パンダレストラン」にて開催しました。大変暑い中、東京までお越しいただきありがとうございます。今回は東京支部の集まりが悪く、少々寂しい会になりましたが、楽しいお話もでき充実したひと時でした。

今、東京渋谷は開発の真只中で、つた返しております。様変わりする渋谷、それでもスクランブル交差点は外国人

九州支部より

昭和三十五年卒

田中(怡土)桂子

梅雨入り前の6月1日に5年ぶりに、福岡市の「料亭雅加楽」で、京都より西村同窓会会長、市川、山羽副会長をはじめ摩嶋、高木、高科、吉田理事の方々と前田校長先生も皆様お忙しい中を、また、九州支部会の方々も大分、宮崎より、遠路をご出席いただきました。お陰様で、少人数ですが、大変賑やかな九州支部会を開催する事ができました。皆様のご協力ありがとうございました。

ご案内の返信ハガキの一枚に、「久しぶりでお目にかかりたいが、足腰が悪くなり杖が必要で欠席します。お風呂で校歌を歌って学生時代を思い出しています。」と記されていました。九州支部会の初代村田会長の頃から

にとつても有名らしいです。

来年は五月ごろ開催予定です。案内状が届きましたらぜひご参加くださいますようお願い致します。



ご出席の方で、何ともできないものかしさと年を重ねられても華頂を愛しておられる気持ち伝わってきました。胸が熱くなりました。

その他にも、「今は体調不良で通院中だが、九州支部会までには体力をつけて出席します。」「今回は叶わないが出席したいなと思っています。」「など温かいお便りを頂いて励みになっています。皆様に愛される同窓会が継続できるように願っています。



退職のご挨拶

安達 浩士

年齢制限を越え、パンチパーマで採用試験を受験したにも拘らず、縁あって32年間お世話になった華頂女子中・高等学校を3月末日を以て定年退職となりました。中学校での2年間の勤務を経て、3年目からは今はもうなくなつてしまつた北館で7年間、高校のⅡ類（特別進学コース）に、その後当時のⅠ類に席を置き、担任、学習指導部長、学年主任、生徒指導部長、教務部長、教頭、副校長と長年に亘り貴重な経験をさせていただきました。

この間数えきれないほどの思い出があります。中学校では就職して一週間も経たないうちに校長から厳重注意（詳細は言えませんが）を受けたことが懐かしく思い返されます。また、担任をさせていただいた11年間では、厳しく対応する必要があるクラスもあれば、そうすることが逆効果になつてしまつたクラスもあり、担任の難しさを痛感しました。2005年の文化祭の展示では、15000を超える折鶴で阪神タイガースのロゴマークのタペストリーを作成し、「ズームイン朝」「週刊文春」等数多くのマスコミに取り上げ



てもらいました。学年主任、生徒指導部長時の特に年度当初には数多くの生徒保護者対応をしていたことも今でも鮮明に憶えています。

2ヶ月間経験した教務部長と担任の兼任だけは、文化祭準備期間と重なつたこともあつてあまりの忙しさにお手上げ状態でした。さらに、教頭職を依頼された時には「ほぼ定時に帰り、上司にも平気で反対意見を言うような扱いにくい私に难道？」と正直思ひながら拝命しました。教頭になり、すぐに「制服の変更」と「2年次からのコース選択」に取り掛かりました。制服の変更の際には教職員の方からの反対意見もある中、HPでの投票を実施し、生徒からも非常に評判のいい現在の制服となりました（何かを変える時に多くの意見を聞く大切さを痛感しました）。

さて、私のモットーは、「①まあええか！②適度にさぼる！（適度と違うと思つてゐる方もいるかもしれませんが）③できないと思うことは無理してしない！④面倒、嫌な作業は優先的にする！⑤他の人からの悪口や批評は無視する！（SNS等で悩んでいる人にはお勧め）⑥自分を大切に、迷惑がからなれないと思えば自分中心で！（迷惑をかけていたと思いますが）」です。ストレスを溜めることなく、心身共に健康な状態で勤務できたのもこのモットーのおかげだと思つています。退職にあたり、このような私に対して送別会を開催して下さつたり、記念品をいただいたりしました。心から感謝しております。教職員、卒業生の方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

最後になりましたが、お世話になつた教職員、卒業生、保護者、学校関係者の皆さまの益々の健康とご活躍を祈念して、退職のご挨拶とさせていただきます。

九州支部会に参加して

昭和三十五年卒
高木 富美子

久しぶりに福岡にて九州支部会同窓会が開催されました。前田校長先生もご参加下さり、総勢12名。同窓会も世代交代で、年長となつた私ですが、出席された若い方々とすぐに楽しい会話が嬉しく思いました。また、宮崎から出席された生駒さんご夫妻が奥様の体調が悪い中、車椅子でお越しいただいた事に驚きと嬉しさで大歓声でした。乾杯の後は、美味しい食事と思ひ出話で会場は笑いの渦でした。二次会は側の喫茶店で、話が花が咲き名残惜しい限りでしたが、夫々又の再会を約して帰途となりました。

田中九州支部長さんは、長らく孤軍奮闘で頑張つて下さっています。彼女のお陰で九州へ行ける事に何時も感謝しています。ありふれた日常生活の中で、このような催しは大切な機会と思ひ、これからも身体への許し限り出席させて頂こうと思つています。同窓の皆様もぜひこの機会を利用され、連絡の取れる方々とご参加をお考えされてはいかがでしょうか？きつと良い想ひ出が作れるのではないと思ひます。

華頂 今、昔

昭和六十二年卒
山本（加藤）しのぶ

本年より同窓会のお仕事、主に会報の発行を手伝わせていただくことになりました。年長の卒業生の皆さまが華頂に通つておられた当時のお話や、現在の母校の様子を聞いては「そうなんだ！」と新鮮な驚きを感じる日々です。

華頂百十年余の歴史の中で自分が在籍したのは高校のわずか3年のことで、それから40年近く経つてゐるのですから、知らないことのほうが圧倒的に多いのは当然なのですが、自分の中に色鮮やかに残つてゐる記憶だけが全てなのは、卒業生の皆さまと同じではないでしょうか。

「色鮮やか」と書きましたが、食い意地が張つてゐた私の記憶といえは「志津屋さんがパンを売りに来ていて、休み時間のパン購入合戦がすごかつた」とか「なかでもカルネが好きで、当時90円だつた」とか何の役にも立ちそうにもないことだつたりします。それでもこの記憶ついで、「私達の頃は〇〇というお店が来ていたよ」なんて皆さんと話題が広がるのが楽しい。通つてゐた年代は違ついても華頂という大きな羽の下に共にゐる、という安らぎを感じる瞬間でもあります。ちなみに今はもうパンの販売そのものがないようで、そんな「華頂今、昔」をこの紙面で共有できればと思ひます。同窓会報告の他、思ひ出や「今、〇〇はどうなつてゐるの？」「〇〇先生はどうされてゐる？」といった質問など、皆さまのお便りをお待ちしております（送り先は表紙にあります）。

賛助会費のご協力ありがとうございました。

賛助会費

同窓会の皆さまに、一口5千円の賛助会費をお願いしております。同窓会収入の根幹となる入会金（新卒業者）の減収を埋めるべく是非ご協力下さい。

まだ拠出していただけない方は、振込用紙または6ページの左下口座へ卒業年を明記してお振り込みください。よろしくお願いいたします。

（敬称略）

（口数）

（昭和十五年卒）
大槻 鈴江

2

（昭和二十三年卒）
吉村 千恵子

2

（昭和二十九年卒）
北村 悦子

1

（昭和三十一年卒）
高田 和子

1

（昭和三十三年卒）
今井 千江

1

（昭和三十二年卒）
小酒井 治美

1

（昭和三十三年卒）
松川 郁子

1

（昭和三十三年卒）
植田 紀子

1

（昭和三十四年卒）
井元 優子

1

（昭和三十四年卒）
田中 圭子

1

（昭和三十四年卒）
大河内 明美

1

（昭和三十四年卒）
藤本 美智子

1

（昭和三十四年卒）
新保 和美

1

（昭和三十四年卒）
藤澤 登代子

1

（昭和三十五年卒）
長久保 翠

1

（昭和三十五年卒）
高木 富美子

1

（昭和三十五年卒）
舟橋 昌子

1

（昭和三十五年卒）
山本 博子

2

（昭和三十五年卒）
田中 桂子

2

（昭和三十八年卒）
森 智江子

1

110

春の懇親会

昭和三十四年卒

井元 優子（吉井 幸子）

新緑の若葉が美しい5月10日に、洛東山科毘沙門堂門跡に参拝しました。天台宗の門跡寺院で、ご本尊に京の七

59年に京都府文化財に指定、當麻曼荼羅図の他、境内正面には安らぎ観音様が安置されている當麻寺へ。

ご住職は華頂の教育を親子で務められた、増田宗雄先生（奥様は華頂で事務をしておられた昭和45年卒の藤野まさ子様です）とご子息の亮先生。ご住職様より法話、その後教え子、お知らせの方々と懐かしそうにニコニコと楽しそうにお話をしておられて学校では見た事のない穏やかなお姿が印象的でした。宗雄先生が近くに來たら顔を見せてくださいとおっしゃっていました。

京都山科 ホテル山菜のバイキングで和氣満々と昼食をとりました。その後、山科大仏と呼ばれる像高2・67メートルの寄木造の丈六阿弥陀如来像（昭和



51年卒同窓会

昭和五十一年卒

野崎（園）眞理子

令和6年11月30日第2回同窓会を都ホテル京都八条「四川」にて開催。今回は、華頂学園同窓会様のご協力で「同窓会報」に掲載して頂きました。会報上のみのご案内でしたが、誘い合っでご参加頂き、広小路先生、五島先生、橋尾先生にもご参加頂いたことに喜びと感謝しかありません。先生方もお元気で、皆さまのエピソードや懐かしい学校生活の思い出話も弾み、楽しい会食の時間が過ぎていきました。

清興で
お箏を演奏

平成十九年卒

白藤（桑原）里沙

昨年、都ホテル京都八条で行われた同窓会総会に趣味のサロン箏曲で参加させて頂いたとき、清興で「京人形の夢」の曲をメンバー10名が二重奏で演奏しました。総会に向け約1年間、みんなで練習した曲です。皆様の注目が集まる中、今までで一番良い演奏ができたと思います。

趣味のサロン箏曲は月に一度、高校の和室で練習をしています。初心者から経験者まで、中には全国大会にも出演していた方まで様々です。新しい先生もお迎えして、和氣満々と練習しています。



最後に、会報上のみのご案内となり、気付かれていなかった方もおられたようです。行き届かなかったことお詫び申し上げます。（幹事一同）

久しぶりに参加した総会では、先生方や後輩に会えたり、校歌を歌ったりと、懐かしい気持ちになれる時間でした。会報をご覧の皆様も、総会のご案内や趣味のサロンのお知らせにも注目して、ぜひ参加してみてください。

賛助会費のご協力ありがとうございました。

（敬称略）

（昭和三十七年卒）

神保 智恵
澤田 昌子
中嶋 延江

（昭和三十八年卒）

神木 秋美
百田 禮子
有馬 正子
美馬 正子

（昭和四十年卒）

吉田 千代
高橋 弘子
匿名希望
山下 三代子
河田 惇子
佐藤 文子

（昭和四十一年卒）

大室 瑞恵
高橋 節子
上野 富美子
西田 和子
藤崎 千鶴
門 節子
佐藤 隆子

（昭和四十二年卒）

三村 富佐子

（昭和四十三年卒）

田中 君枝
長山 眞砂美
佐々木 和代
小寺 敏美

（昭和四十四年卒）

西村 曜子
神 三子
大森 三代
上野 友子

（昭和四十五年卒）

藤田 光子

（昭和四十六年卒）

武田 光子
竹森 眞弓

（昭和四十七年卒）

吉田 和都子

（昭和四十八年卒）

川崎 隆子
勤 地香子
永田 孝子
岡野 厚子
奥田 百代

（口数）

2 1 2

1 1 1 1

2 1 2 1 1 1 1

1 1 1 1 2 1 1

2

1 1 2 2

1 1 1 4

1

1 1

1

2 1 1 1 1

2024年度 華頂学園同窓会決算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	予 算	決 算	差 額	項 目	予 算	決 算	差 額
前年度繰越金	25,429,043	25,429,043	0	総 会 会 合 費	800,000	623,784	176,216
入 会 費・会 費	1,410,000	1,395,000	15,000	会報費(郵送・印刷)	2,500,000	2,522,629	△ 22,629
受 取 利 息	2,000	1,482	518	名 簿 管 理 費	150,000	110,000	40,000
賛 助 会 費	400,000	560,000	△ 160,000	印 刷 費(会報除く)	30,000	0	30,000
趣味のサロン会費	250,000	150,000	100,000	通 信 費	70,000	53,051	16,949
総 会 費 他	600,000	491,320	108,680	卒 業 生 記 念 品 代	70,000	68,541	1,459
				慶 弔 費	50,000	46,500	3,500
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	115,648	134,352
				ホ-ムペ-ジ`維持費	50,000	0	50,000
				消 耗 品 費・雑 費	15,000	8,472	6,528
				教 育 活 動 支 援 費	70,000	60,000	10,000
				予 備 費	100,000	0	100,000
				次 年 度 繰 越 金	23,936,043	24,418,220	△ 482,177
計	28,091,043	28,026,845	64,198	計	28,091,043	28,026,845	64,198

財産目録

種別	項 目	金 額	種別	項 目	金 額
普通預金	滋賀銀行普通預金	3,473,656	定期預金	滋賀銀行定期預金	5,000,000
	りそな銀行普通預金	288,627		りそな銀行定期預金	15,000,000
	ゆうちょ銀行振替口座	559,820			
小計		4,322,103	小計		20,000,000
現 金					96,117
合 計					24,418,220

2025年度 華頂学園同窓会予算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	本年度	前年度	差 額	項 目	本年度	前年度	差 額
前年度繰越金	24,418,220	25,429,043	△ 1,010,823	総 会 会 合 費	800,000	800,000	0
入 会 費・会 費	1,245,000	1,410,000	△ 165,000	会報費(郵送・印刷)	600,000	2,500,000	△ 1,900,000
受 取 利 息	2,000	2,000	0	名 簿 管 理 費	150,000	150,000	0
賛 助 会 費	400,000	400,000	0	印 刷 費(会報除く)	30,000	30,000	0
趣味のサロン会費	250,000	250,000	0	通 信 費	70,000	70,000	0
総 会 費 他	600,000	600,000	0	卒 業 生 記 念 品 代	60,000	70,000	△ 10,000
				慶 弔 費	50,000	50,000	0
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	250,000	0
				ホ-ムペ-ジ`維持費	50,000	50,000	0
				消 耗 品 費・雑 費	15,000	15,000	0
				教 育 活 動 支 援 費	70,000	70,000	0
				予 備 費	100,000	100,000	0
				次 年 度 繰 越 金	24,670,220	23,936,043	734,177
計	26,915,220	28,091,043	△ 1,175,823	計	26,915,220	28,091,043	△ 1,175,823

会計監査 高科 弘子 藤田 光子

賛助会費のご協力ありがとうございました。

令和6年9月～令和7年3月迄
81名 計560,000円

ゆうちょ銀行

口座番号 01010-1-81465
華頂学園同窓会

敬称略																口数
昭和四十九年卒																
足立 充子																1
坂田 俊枝																1
昭和五十年卒																
本庄 昌世																1
森 眞由美																1
昭和五十一年卒																
市川 宣子																1
昭和五十二年卒																
太田 眞穂子																1
昭和五十三年卒																
横田 准子																1
昭和五十五年卒																
前川 洋子																1
吉川 満子																1
昭和六十二年卒																
神谷 照美																1
山羽 めぐみ																1
植木 美奈子																1
平成一年卒																
米澤 彰子																1
神谷 美由紀																1
平成三年卒																
中井 敦子																1
平成五年卒																
矢野 恵美																1
平成十年卒																
野田 悠紀																1
拓榴 亜樹																1
平成二十八年卒																
本庄 恵子																1
令和四年卒																
谷小百合																1

文化祭・体育祭

「生徒たちがやりたいことをする文化祭」をテーマに今年も行うことになりました。文科系クラブの発表だけでなく、各クラスも見に来てくれる人を楽しませようと様々なことを考えてくれています。昨年は、1年生がそれぞれオリジナルのダンスを考え、ステージで発表してくれました。そして2年生が「縁日」の共通テーマでスーパーボールすくい、射的、もぐら叩き、的あてなどの模擬店を開いてくれました。3年生は各クラスが食べ物や飲み物の模擬店を開きました。たこせん、フルーツポンチ、フランクフルト、クロッフルなどを販売し、来場者をもてなしてくれました。また、保護者会やむつみ会の方もアップルパイ、おにぎり、焼き鳥、シュークリームなどの模擬店を開いてくださり文化祭を盛り上げていただきました。体育祭についても、暑さを避けるため11月に開催したのですが、生徒たちは盛り上がり暑い体育祭になりました。今後も生徒たちが心から楽しめるものになるよう取り組んでいきます。

行事予定 -----

9月18日(木)/19日(金) 文化祭
10月31日(金) 体育祭
11月6日(木) 体育祭(予備日)



クラブ活動報告

毎日、体育系・文科系クラブ共放課後に楽しく活動しています。特に空手道部は毎年全国大会に出場しております。この1年間でも下記の戦績を残しています。

全国高等学校空手道選手権大会(令和6年8月)

・女子個人組手 富岡 莉子 出場

全国高等学校空手道選抜大会(令和7年3月)

※41年連続41回目の出場

・女子個人組手 59kg級 岩崎 由奈 ベスト8
・女子団体組手 ベスト16
・女子個人形 宮島 瑚都乃 出場



体育系クラブでは空手道部の他にもバスケットボール、バドミントン、バレーボール、テニス、卓球、ダンスの各部員が汗を流し、文化系では美術、写真、家庭科、JRC、イラスト、軽音楽、茶道、華道、理科、競技かるた、書道の各部員が共通の興味のあることに取り組みながら、先輩や後輩と共に楽しい時間を共有しています。



令和7年度華頂学園同窓会 趣味のサロン 参加者募集!!

秋期

【秋期開催日】 令和7年10月～令和8年3月の(土曜日) 全6回
【場 所】 高校内の和室・視聴覚教室で行います。

実施時間 / (箏曲)午後2時～4時、(かな書道)午後1時30分～3時30分	
《箏曲(生田流)》 和室(2F)	講習日 10/25、11/22、12/20、1/24、2/28、3/28 講 師 昭34年卒 井元(吉井)優子氏 / 昭60年卒 今堀 朱美氏 楽譜は数字の縦書きで、絃は十三本ですので、初心者の方でも触れば弾ける楽器です。 童謡から唱歌等楽しく弾けて、お箏を通じて色々な施設でボランティア活動を楽しんでみませんか。 お爪とお爪の輪(1,350円)はご購入下さい。
《かな書道》 視聴覚教室(2F)	講習日 10/4、11/1、12/6、1/10、2/7、3/7 講 師 昭40年卒 森下 倫子氏(日展作家) 初心者大歓迎です。簡単な「かな書道」です。 懐かしい学校で1ヶ月に一度、仲間と共に筆で文字を書いてみませんか? お家にある「書道用具」などをお持ち下さい。

- ・申し込み 華頂女子高等学校内 同窓会 <FAX 075-525-2522>
9月22日(月)までお願いします。
- ・受講料 1講座(6回)3千円
- ・振込先 ゆうちょ銀行：口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会
(振込用紙に「〇〇講座 希望」と明記して受講料を納入してください。)

初心者の方大歓迎。
多数のご参加を
お待ちしております。



< 入学試験に関するお知らせ >

【1次入試】

試験日	2026年2月10日(火)
出願方法	2026年1月19日(月)～23日(金) Web出願
試験科目	推薦専願 国語・数学・英語(各50分)・面接
	併願 国語・数学・英語・理科・社会(各50分)
受験料	20,000円

【ファミリー推薦】 ファミリー推薦受験の合格者は、入学金(90,000円)を免除します。

受験対象	学業・人物ともに優れ、成績において一定の条件を満たしていること。 入学後も勉学に励み、充実した学校生活を送る意志がある者。
推薦者	京都華頂大学・華頂短期大学・華頂女子中学校・華頂女子高等学校・華頂短期大学附属幼稚園・ 華頂高等女学校等旧制諸学校を卒業・卒園、もしくは、在学・在園中の者の4親等以内の親族。

※事前申請が必要です。「ファミリー推薦出願確認書」を提出してください。

〈お問い合わせ 華頂女子高等学校入試部まで 電話:075-541-0391〉

イベント 情報

オープンスクール
放課後ガールズビュー
入試説明会
個別進学相談会
個別入試相談会
キャンパス見学会

など多彩なイベントを開催します。
詳細はHPをご覧ください。

学校生活・イベント
情報などをチェック!

HPIはこちら!

<https://www.kacho.ed.jp>



学校の様子をご覧いただけます!

LINE



最新の情報が
いち早く届く!

facebook



保護者の方に
オススメ!

